

# 「花見の王様」 高村明彦

## 登場人物

男  
別の男

盛岡城跡公園の映像（スライドショー）が流れる。

花盛りである。

男が歩いてやつてくる。

テロップ1 「男」

お目当ての場所に辿り着き、ブルーシートを広げる。

テロップ2 「モリオカの」

四隅を大きめの石で押さえ、折ったダンボールを立て札代わりに真ん中に置く。

テロップ3 「シロに」

それには大きく「ヨヤクズミ」と書かれてある。

テロップ4 「ヒトリ」

男、去る。

タイトル 「花見の王様」

映像が終わる。

ブルーシートの上に桜の花びらが一枚、また一枚と舞い落ちる。

男、鼻歌まじりでやつてくる。

右手に日本酒の一升瓶。

左手にスーパーの袋。発泡酒やおつまみ、お椀、割り箸、コップなどが入っている。

いやいやいや……まだ酔っていないよ？

男、晴れ晴れしつつ一升瓶と袋を置く。

一度去り、今度は鍋とカセットコンロを持ってくる。

男（仰ぎ見て）いやー、晴れてよかつたなあ。でもね、夜は寒くなるからね、けつこう厚着してきたの

男、深呼吸。

男においがいいなあ

もう一度深呼吸。

男 においがいい。ははー、いいねえ。ウフフフフ……  
いや、だから、まだ酔つてないって  
ただ、ウレシーの

また辺りをみている。

男 今日のお客さんは……ギャルとおねえさんでいっぱいだね！  
ウフフフフ……じゃ、おれもカンパイといきますかね

スーパーの袋より発泡酒を取り出す。

男 いやなんか悪いなア

なぜか照れる男。

男  
えー、いいのお？ ジャ、すいませんが失礼して

缶のブルタブをひく。

男  
じゃ

四方に缶を掲げる。

男  
じゃ本日はお日柄もよく、挨拶は、省略しますけれども……黙祷

男、黙祷。  
終わつて、

男  
カンパイ！

男、なんとももつたいぶつて、唇をつけ飲む。

男  
ぐー！

自ら拍手。

男  
いやー、いい！  
や、ほにほにほに  
いいね！ 楽しくやりましょう！ ねえみなさん！ 今日は思う存分！ ねえ！  
いやいやい

男、座る。

男  
ふう……

男、少し寂しくなつたかもしれない。  
が、徐々にまた喜びの表情。  
スーパーの袋の中から柿の種の袋を取り出し、ポリポリ食べる。

男

桜さあ、おれは、ソメイヨシノも、結構好きなんだよ  
エドヒガンも好き

石割桜のシロヒガンは、いつみても見事だね

山桜も

浄水場のヤエベニシダレも

どんくらい好きかつていうと、そうだなあ……かなり?

年に一回つてのがいいよね

一年つて長いじゃない

短い?

おれ結構長いと思うんだ

おれみたいに、毎日あまり代わり映えのない生活しててもさ、次の桜まで、なんて思うと長い気がするよ。ウン

いやさ、去年の夏暑かったでしょ?

暑い通り越してもう過酷だったでしょ

おれさ、去年、あのデツカイ葬祭会館の現場行つてたの  
葬祭会館、知つてるでしょ。最近たくさんあるでしょ、そちらじゅうに

でつかい緑と白の看板の

その中の一つさ、うちの会社で請け負つたの

入り口の前の舗装したの

ありやきつかつたあ

いやほんと暑いのなんのつて

で、その会館の前にさ、もう閉めちゃつた酒屋があるんだけど、自販機だけは置いてあんのね

それ、おれらで売り切れんの  
なんか知らないけど、おでんまで売り切れてんの。知つてる?

缶おでん

酷暑に売り切れ

なんでだろ

でね、そうすつと、店のおっさんがさ、億劫そうに出てきて  
ガタタタタタン、ガタタタタタタン、て入れんの

で買うの。おれらが

水分どんどん奪われるから

でも帰りは買わない

なぜならばー?

夜はお酒が待ってるから!

ウフフフフ:

また、ちびりと発泡酒を飲む。

男

それでさ、そのくそ暑い夏のせいでの、もうすっかりバテちゃってさあ  
もう食欲なくして  
げそげそになっちゃって

なんつーの? どこが悪いってはつきりしないやつで  
吐き気するわ眩暈するわ頭痛いわ

あ、熱中症?  
熱中症だな、ありや

秋の終わりまで仕事行けなくなつたんだから

情けねーなしかし

おれみたいな人夫がさあ

あ、そうだ、熱中症で思い出したけど、これ鍋ね  
みればわかりますよおー

これ、鍋なんだけど、すり潰した納豆入つてんの  
そお、納豆汁！ うまいよおー

弟も好きだつた。弟の奥さんの由美ちゃんは納豆アウトつて言つてたけど  
でも食べると身体あつたまんのよお  
どれどれー

男、鍋を力セツトコンロにセツトして、

男 うりや！

といつて、火をつけようとするが、つかない。

男 うりや、うりや、んん？

やはりつかない。

男 うりや、といや、せいや！ はうあ！ どつせい、おどりやあ！  
んんー？

カセットコンロのガス缶を取り出して振る。

男 ぐあ！ 空やんけ！ えほんまにい？  
もおやだ聞いてないわよアタシいー。信じらんない！ やだもおー

はたと辺りを見渡し、

男 （客席に向かつて）すいませーん、どなたか今日、カセットコンロの缶、お持ちでないでしょうか？  
ガスの、缶、ないですか？ あ、ない？ こちらのおねえさんは？ あ、ない  
そちらのイケメンさんは？ あるわけねえだろ？  
は、すいません  
うつそおーん

誰一人、お持ちでないのですか  
確かに、いまや貴重品ですからね、コレ  
いやほんとないの？ ちえつ

といいつつ、男、スーパーの袋を漁ると新品のガス缶がちゃんとある。

男 買つてたの忘れてた♪

男、年甲斐もなくかわいい。

男 へへー、これこれ、これよおー

コンロの火をつける。

男 ヨシ！

少しコンロの炎みつめている。

マイムマイムを口ずさみ、

踊る。

しばらくして、はたと消す。

男

やつぱ鍋はまだ早いな……ウフフフ  
おれ、一人なんだけど、今日ね

みりやわかるけど

今さー、ひとりつて流行つてるらしいじやん？

ひとりカラオケとかあるんでしょ？

おひとりさま温泉プランとか

ひとりクリスマスとか、あ、それはただサビシイだけか

いやおれのことですよ

ひとり劇団とか。違うな。劇団ひとりか、ウフフフ：

ひとりハ芝観劇とかね

いや、ひとりね、気楽つちや気楽だよな

ちなみに、お聞きしたいんですけど、ひとりカラオケ行つたことある方はー？

男、想像上の客に聞く。

男 お、いる？ どうでした？ 楽しかったですか？ 友達、いないんですか？

寂しいですね。いや、ぼくも友達い

ないのではい  
じやあ、ぼくとお友達になつてくれませんか！  
で、こつちで一緒に飲みませんか？

勘弁してくれ？

そうですか  
へへへへ

男、缶をあおる。

男 うん。自分も長いことひとりだからさ

家族いたよ  
両親と弟

爺さん婆さんはハタチんときに、最後の母方の爺さんが死んだ  
でね弟なんだけさ、これまたデキがよくてさあー！

お兄ちゃんびっくり

ほんと、なんでもこなすタイプなんだよ

野球部レギュラーだったし

おれは中三のときに肩壊しちゃつたから、高校は応援団に入つたんだけど  
なんてーの？

弟は、今で言う「もつてる」つてやつ？

ちよつと野球の話にズレますけどね、あれはね、巡り合わせのスポーツなんですよ

試合には必ずヒーローがうまれます  
けど、なろうと思つてなれるもんでもないから

バツターンなら打順があるでしょ

ピッチャーやはさ、そりや試合の顔になる確率一番高いよ？  
ゼロに抑えればいいんだからね

で、うちの弟はショートだつたんだけど、足速いは肩強いわ  
すげーんだ！

で、もつてるのよ  
ちゃんと巡つてくれのよ、いいとこで打順が

#### ※野球SE

2年の新人戦地区大会決勝9回裏一打サヨナラ満塁の場面、まわってきたの  
で、打ったの、ヤツ  
もつてるから  
おれは、もつてない  
なんも  
しいて挙げればウンコ漏つてるくらい  
失敬

でもほんと、ヤツはすごかつた  
あんとき、カウント・ワンワンから  
ガキーン！ と打つてねえ、打球をゆっくり見送つて  
レフトスタンドポール際、巻き込むように入つてさ

弟はあまりデカいガツツボーズしないの

ただゆつくり指を二本、こうやつてベンチとスタンドに向けるわけ

それがまた様になつてんだ

でも最後の夏は、甲子園は行けなくて

それですつぱり野球やめたんだ

それからは、ガンガン受験勉強

大学入つてからも手抜きしなかつた

遊びも手抜きしなかつた

で、

おととし結婚したんだけどさ。奥さんかわいくてなあ

10歳も離れてんだよ？

どこだかのー、NPOやつてさ

そこで活動してることで、出会つたつて

弟は、会計事務所で行政書士やつてた

バリバリやつてたんだよ

お兄ちゃんとは大違いで

もつてる男で

男、発泡酒を飲む。

男 なのになあ……残ったのはおれで  
いやいやいやいや

男、スーパーの袋から「グリコアーモンドチョコ」を出す。

男 みなさんも、何か落ち込んだときがあつたら、チョコ食うといいですよ！  
チヨコ食うとたいていのイヤなことは、  
消えます！

断言します！

何かあつたらチョコを食え！  
おねえさんもチヨコ、いかがですか！  
私からの季節外れの、逆・バレンタインです！

周囲にチヨコを置いていく。  
男、戻つてチヨコを食べる。

男

ありがとうございます  
チヨコつとラブを受け取ってくれて  
ありがとうございますね

今度デートいきましょう

でもおれ、車はあまり乗らないんですけど  
最近、車に乗つてるような、なんか似た感じがするんですけど

感覚的に

車から、流れる風景を見るでしよう？

おれも、ちょっとこう、生きながら、風景が、どんどんどんどん、流れていくように思えて  
どんどんどんどん、ばあーっと

ほんとはそんな速く流れないでほしいなって思うこともある  
でもおれだけじゃなく、みんなが時間に乗つてるからね  
しそうがないっちゃしようがないんだけど

あそだ、チヨコ食つてて思い出したわ

今年もバレンタインデー、チヨコもらえなかつたんだよな  
去年も、おととしも。もう何年ももらつてねえですよ

泣けるわー

当日はちょっと気にしちゃう自分が、潔くないわー  
でも、昔はさ、もらつたことがあるんですよ！

これ、これと同じチヨコ！

まだ売つてるつてすごいよね  
定番商品つてすごいよね

男、チヨコをまた食べる。

男 と、考へると、時間を超越する不滅のものつてあるのかしらね？

定番商品はずーっと残るかな？

コーラとかポテチとかカツプヌードルとか

ファーストフードなんかは？

マックとかドーナツ屋とか、きっとおれが死んでも世界のどこかにはあるのかしら

ないかあ？

やはり、万物は流転するかあ？

いつかはこの世からなくなる日がくるとみるべきか

この風景をみてるけど、いずれ死んで、死んだ後も世界は残つて、とか考えちゃつたりしたことないですか？

普通ないわよねー！ ウフフフフ…

話 それた、チヨコだよチヨコ！

あの時、おれにチヨコくれた子、まだ生きてるかな

生きててほしいな

当時、その子はおれより背でかかつたんだよ

ほら、小学校高学年て、女の子のほうが大きいじゃない  
おっぱいもでかくなる子はいきなりでかくなるじゃない  
なんか、体育でスキーやつたんだよね

校庭の小さい山で  
で、帰りにスキー抱えて下校するとき、昇降口で

「これ、ほしかつたらあげる」つてくれたんだ、チヨコ

さらにだ！なんと！

「あたし、あんたのこと好きだからね」つて言われたんだ！

おれさあ、今でも悔やんでるんだけど、この、想定外の出来事にうまいこと答えられなかつたんだよ……何を思ったか

「あつそ」

つて言つたんだよ。最悪だなおれ

なにそれ「あつそ」つて

いや、あの子もぽかんとしてたよ

それ以来、別に何事もなかつたように、その子との関係は、チヨコくれた日をピークに先細り  
おれの人生も先細り、今に至つて

え？ お返し？

しなかつたんですよこれがまた全然

当時、ホワイトティーって知らなかつた気がする

おれが小学校の頃だよ？

昭和だよ昭和。30年近く前なわけだから

元気でいるといいなあ

面影が小学校の頃のしかないから、当たり前だけど、今が、想像つかない

小学校の同窓会つてないよなあ

たぶん、これからもないだろうなあ

ちよつと、会つてみたいつて思つちゃうね。ダメかなあ

洒いこ

男、袋からコップを出し、酒を注ぎ、しばし飲む。  
長く息。

男 昭和ねえ。昭和

おれ、昭和よんじゅう、ウン年生まれ  
みえない？

ありがと

昭和っていうとなぜか、八幡さんのお祭り思い出すんだよね  
今もあるけど

不思議なもので

なんかその風景が、ちょっと濃い感じで、自分の中にあつて  
その八幡通を、あれは誰とだつたかなあ

あ、弟だよ

あと同級生か

うん、コウキちゃんと、アラちゃんと、富はんいたかな？ いたな

で、怖かったの

八幡さんのお祭りって

いやいや、楽しいんだよ？ めっちゃ楽しみにしてたんだよ

で、実際行くときもルンルン

※山車の音

八幡くだりの山車行列も好きでさあ  
山車、乗つたことはないんだけど、あのやーれやーれやーれ、ドンコドンコドンコドンコって、いいよね  
あん時、5年生くらいだつたと思うんだけど、友達同士で八幡のお祭り行つてさ  
何が怖かつたかっていうと、まず、傷痍軍人さんね

わかる？ 傷痍軍人さん

戦争で負傷したおじいさんが募金の缶前にして立つてんだ  
ラジカセで、なにか、軍歌みたいなの？ 流してた気がする

あと、見世物小屋！

怖すぎ

蛇女、牛女ね

なかでも蛇女は凄かつた

生きた蛇を鼻の穴にいれて、口から出した！

確か、その蛇最後に噛みちぎった気がする

で、こんなに太い蠟燭のロウを、こーやつて口に含んで、ブオーって火まで噴いた！

おれたちみんな、文字通り蛇に睨まれた蛙状態

蛇女に睨まれた小学生状態。そのまんまか！

あとで夢に出てきてうなされてさ

風呂でもシャンプーしてる後ろに、蛇女がいたらどうしようとか思つてさ！

ほとんどトラウマなんだよね

でもやっぱりあれが昭和のイメージなんだよなあ

見世物小屋、まだ日本にあんのかな  
巡業してんのかな

けど、この歳になつて思うと、あの蛇女さんも、それがお仕事だつたわけですね  
ハ幡通りで立つてた傷痍軍人さんも、秋が来ると、さて、そろそろ出かけるか、なんつて、軍服に着替えて、出向  
いたんだよね

あれえ？ そう考えると、かの人は、ここに住んでる人とも限らないのかなあ？  
全国各地のお祭りで、ああやつて立つてたのかなあ  
かなりもうお爺さんだつたけど、片腕なくて  
あ、今気付いた  
その可能性もあるなあ

またお酒を、今度はゴクゴク飲む。  
ふいーっと一息。

男 人生も折り返し地点、なんて言いたかないけど  
だんだん気付かなかつたことに気付いてくるようになるね  
好むと好まざるとにかかわらず

男、遠くを睨むようなちょっと険しい表情。

男  
あ、UFO

バタバタバタとヘリが上空を飛んでいく。

男  
ヘリか。でかいヘリだな

過ぎ行くヘリを見送る。

男  
仕事、1月末でやめたんだ

その、身体のこともあつたわけだけど、除雪でさ、さらに腰ガタガタになっちゃつて  
情けない話、インフルにもかかつて  
死ぬかと思つた

ウチ、ようは下請けでさ、もうずっとかつで仕事してたようなもんでさ  
いや、これ、ホントに

業界下火だつて言われてたけど親会社は、自分とこの利益はきつちり確保するからね  
そのうえで仕事よこしてたわけだからさ  
いや善悪じやないよ?  
それが普通なんだよ、うん

職業選択は自由です  
わかつてます

それが、今や、人足りない状況だつて  
みんなバンバン沿岸行つて  
知り合いから電話かかつてきた  
できるかつて  
いや一  
いやあー…  
よつしや、そろそろ鍋いくかな！

男、鍋に火をつける。

男 着火！ おれのハートに火をつけるお！

男、歌を歌う。  
熱い歌。

歌い終わりに、激しくむせる。  
むせてしまつたことでちょっとバツが悪そうになる。

男 ウフフフフ……『めんごめん

花を見上げて

男 うちの爺さんの口癖ね

「ソメイヨシノはすぐ病気になんだ。戦後に植木屋が文部省と結託して学校に植えまくったんだじや。おれあ桜は山桜、まだ田打ち桜のほうがいいじや」  
だつて。ムフフフ……

祖父を思い出す。

男

おれほんと爺さん好きだつたんだよね  
やつてた仕事も、ちよつと爺さんを見てたからつてのもあるかもしねない  
夏にキミ煮るんだよ

爺さんはキミのイメージだ

大正13年生まれ

若い頃は戦争にも行つた

捕虜になつてシベリアに抑留された  
その話を聞いたのは、爺さんが死ぬちよつと前

こっち戻つてからは建設現場やらトンネルの発破やらなんでも仕事した

爺さんとこではベゴと田んぼと畑もやつて、炭焼き小屋もあつた

裏山がベゴの牧草とる山で、まったくなんもないんだけど

そこで弟や従兄弟たちと遊ぶのが楽しくてさ

一本だけでかいコブシが植わつてた

地元では田打ち桜っていうらしい

そういうやもう長いこと行つてないな

まだあるんだつたら見に行きたいなあ

爺さんはそのコブシに思い入れ強かつたみたい

実に、見事な咲きっぷりだつたから

おれは桜もどつちも好きなんだけど

咲く花は強いから

立ち上がり、フラフラつと歩き出す。  
桜の幹に触る。

男 うおー、ここ、すげえ樹液が出てる

飴色だあ

桜

なんも変わりなく咲いたなあ  
ソメイヨシノの寿命つて案外短いんだって

長くても100年つて言われてるけど  
接木でしか咲かない桜

人間の手でしか生きられないとも言えますね  
当たり前のよう咲いて散つて

いいなあ

それで、心和ませてくれるじゃない  
おれは、ほんと役立たずじやないか  
家族いな  
職人にもなれんかつた  
気力ない  
みんなのがんばり逆行してないか

男、桜の幹にひしと抱きつく。

男  
うわあ！

男、急に慄く。

男  
毛虫！ アメリカシロヒトリ！

うわあ、ゾクゾクしたあ！

虫つきやすいからね、ソメイヨシノは

いや  
おれも

虫みたいなもんか

男、少し佇む。

男 ん？ アメリカシロヒトリ？

差し詰めおれは、モリオカ、シロ、ヒトリ？

誰がうまいこと言えと

さむつ

あ、そうだ、鍋

鍋食べてあつたまろう

身も心もね

男、鍋のフタを開ける。  
湯気が立ち上る。

男 うほほー、どれどれ

スーパーの袋からお椀と箸を取り出す。

しかし、お玉が無い。

袋を覗き込む。

やはり無い。

男 あらあ、お玉忘れたよ！

まじで、どうやつてよそう？

（お椀を構えて）こうか？

いやいやいや

あのー、どなたか、お玉お持ちではないでしょうか？

暗転。

映像が流れる。

大通の100キンだ。  
お玉を買う男。

・  
・  
・

それを持ちながら、再び公園下をぶらぶら歩く男。  
元の場所に戻つてくる。  
映像が終わる。

・・・

日が落ちたようだ。

男、鍋をよそつている。

そして割り箸を割つて、ふうふういいながら食べる。

おかわりする。

また食べる。

男 うまいねー、自分で作つといてなんだけど、うまいわ。幸せだわ

食べ終わる。

男 ごちそうさまでした！

男、ポケットからティッシュを取り出し、鼻をかむ。

男

ここは、ご存知のとおり、かつてお城だつたんだよね

殿様どこにいたのかなあ  
家来どこにいたのかなあ

あ、殿様は江戸の武家屋敷にいたのか  
しかしまさか、お殿様も300年近く経つて、おれがここで、でーんと座つて納豆汁食つてるとは想像だにしなかつたろうねえ

おれが、ここの王様だな！

ウフフフフフ

だから100年先なんてわからないんだよ  
ここで宇宙人が酒盛りしても不思議はないんだよ

それは不思議か  
でもおれ一度だけ宇宙人をみたことがある

宇宙人が  
おれのアパートで  
シャンプーしてた

驚いた

女の宇宙人で、一見地球人と区別がつかない  
おっぱいもある

シャンプーの泡、シャワーで流して  
おれに気付いて振り返った！  
陰毛もあつた！

なにみてんのよお――――！

そう  
おれの彼女、宇宙人だつたんだ

お互いちよつとしたことでケンカが絶えなくなつて

風習の違いで

その女はもう月に帰るから、と言つた

へ？　かぐや姫？

聞くと、月面ステーションから

生まれ故郷のアルファケンタウリ第五惑星に戻るのだそうだ

実家では、小さな食堂やつて、なぜかオムライスが人気らしい

実際に所帯じみてるなと思った

憎めない人、もとい、宇宙人ではあつたのだけれど

どうしてんだろうなあ

ん？

上空を見上げる男。  
激しく明滅する光。

男  
UFO！

闪光が消える。  
元通り。

男 あーびつくりした

落ち着こう  
酒だ

男、酒をゴクゴク飲む。

男 なんかすっかり酔い覚めちゃったよ  
何があつても不思議はないけど  
いやいやいや、それにしてもさあ

男、また酒をゴクリと飲む。

男 だいたいおれは、今日花見をしに来たんだよ

今年で最期になんだよ  
酒飲んで、酔つ払つて、ぐるぐる不確かなアタマで、花を見て、花と意識がごちゃまぜになつて、境界がわからなく

なつてだな、それはもう天国なんじやないかと思うんだ？

ダメだ、寒くなってきた

震える

そしたら、天国だつたら、死んでもいいじゃない  
無理してこんな、ソメイヨシノにくつづいたアメリカシロヒトリみたいなおれなんか、王様でもなんでもなくつて、  
さつさと死ねばいいじやない

誰も迷惑かけたくないんだ

きっと生きていることが迷惑だよ

おれからしてみれば

弟とか、うちの両親とか、爺ちゃんみたいに、いけなかつたんだよ害虫なんて、この世にいないほうが、いいに決まつてる

桜に虫がつかないほうがいいに決まつてる  
どうしてそんな単純なことなのに  
なんでおれが、おれが、おれが仕事した葬祭会館で  
あんなに人が死んで  
いっぱい運び込まれて葬式して

弟も

由美ちゃんも

親も

なんでおれはまだ生きてんの？  
なんでおれはまだ生きてんの？

なんで、おれは、まだ生きてんのおー！？

男、膝を抱えて丸くなる。  
ゴロンと転がり。

男  
ダンゴムシ

そのまま、動かない。  
桜のような、雪が降つてくる。

男  
ああ、このまま冬眠したい  
永眠でもいい  
人が眠ることは死ぬ練習だつて  
今日は、本番さ

静寂。

しばらくして、別の男がやつてくる。  
男の傍にしゃがむ。

別の男 兄さん

別の男、笑つている。  
そばにあるコップに酒を注ぎ、それを飲む。

別の男 兄さん

男、起きる。

男 わ！ なんでいるんだよ

別の男 ？

男 え、今日は、どうしたの？

別の男 ないなあそれ、その言い方

男 すまん

別の男 用は、とくにな  
い

男 あ、そ  
う

別の男 風邪引くよ?

男 うん。お前もな

別の男 おれは引きようがないだ  
ろ

男 はは、そう言  
うなよ

別の男 これ食つていい?  
?

男 うん

別の男、納豆汁を食べる。

男 冷めちやつたな

別の男、答えない。  
かわりに、親指を立てる。

男 そ、なら、よかつた

これさあ、ばあちゃんよく作ってくれたもんな  
懐かしいべ？

少し間。

男 ちょっと聞いてくれよ

別の男 ん？

男 昔さ、江戸時代にね、桜の見物客がごつた返してくるから、このお客様たちに、何やつたらウケるか、考えた人た  
ちがいたんだ  
でね、みんなで首吊りしたら、一番話題になるんじやないかって言つたやつがいたの  
でもそれだと、ウケたかどうか確認するやついないじゃん？  
てツツコミ入ったわけ  
それで、いや、おれが確認するから大丈夫つて、その言い出しつペが言つたの

別の男 うん

男 おれ、ここで首吊るから、みてくんないかな

別の男 ハア？

男 ウケるかもしないから  
ロープ持つてきたんだ。首くくりの

男、袋から荒縄を取り出す。

別の男 枝折れるんじやね？

男 太いところにゆわえるよ

別の男 迷惑だなあ

男 でも、誰もいないし

別の男 迷惑だろ

男 生きてるより?

別の男、溜め息。

男より縄を受け取る。

めんどくさそうに、男を縛る。

手際がよい。

別の男 ジヤ

男 え、えー?

別の男 待たせてるから

男 あ、ユミちゃん?

別の男 ああ

男、嬉しそうに

男 そつか！ はやく行つてやんな！

別の男、かつてよく右手の二本指をかざして去る。

男 それ、あん時の：

でも、あれー？

これどうすんの？ ちよつとお！

おれ縄抜けできないぞお！

ちよつとおー！

王様は、捕縛されてしましました

このまま、断頭台が近くにあればいいのだけれど

残念ながら、ありません

王様は途方に暮れました

しかし、王様に妙案が浮かびました

(客に) すいませんが、これ、ほどいてくれませんか？

お客様に、ほどいてもらう。

男 身体が、とても軽い

腰も痛くない

息を大きく吸い込む。

男 肺が、なんともない

なぜだ？

ありがとう

ありがとう、弟よ

桜が舞い散る。

泣きそうなのをごまかして、急いでコップに酒を注ぎ、飲む。

男 今日はまた、ずいぶん、酔つてしまつたなあ

また、桜を見て

男 こんな詩をね、読んだ人がいる

さくらだといふ

春だといふ

一寸、お待ち

どこかに

泣いてる人もあらうに

さくらだといふ

春だといふ

一寸、お待ち

どこかに

泣いてる人もあらうに

泣き虫は、ここにもいますよ

いい年して

生きててもいいなら、生きます

来年の花見もします

ひとりでも

花を見にきます

もし友達ができたら、友達と

家来ができたら、家来と

何かの間違いで

お姫様がやつてきたら、お姫様と  
王様はまた、花見をします

(了)